

あなたの挑戦をサポートします

# CHALLENGE PROJECT

2024



# CHALLENGE PROJECT

2024

Campus Life Center

TOKAI UNIVERSITY



**Campus Life Center**  
東海大学 キャンパスライフセンター

※課外活動、キャリア就職、健康推進、障がいや性に関する  
相談など学生生活を支援する組織です。

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1  
TEL:0463-50-2504(直)

プロジェクト活動  
の詳しい内容は  
こちら



本センターの  
Instagramは  
こちら



# #挑戦が社会を 創造する

## チャレンジプロジェクトとは

学生が自由な発想で企画・立案した、年間を通じて行われる「プロジェクト活動」により、社会に貢献できる人材を育てることを目的とする東海大学ならではの教育プログラム。厳正な審査を経て採択されたプロジェクトに対して、充実したサポート体制が整っています。プロジェクトはものづくり系やボランティア系、地域活性系などさまざまなテーマで活動しています。複数にわたる学部・学科の学生たちが、仲間とともに目標の達成に挑み、困難や失敗を乗り越えて、他者とのかかわりの中で新しい自分の側面に気づき、個性を磨きながら取り組んでいます。

プロジェクト活動の詳しい内容はこちら



## サポート体制

サポート

1

### 教職員からのサポート

#### ■プロジェクトコーディネーター(職員)

プロジェクト全体の進行状況を把握し、活動全般の相談役や提出書類の作成指導、予算管理・工程管理に関する指導や、プロジェクトとキャンパスライフセンターおよび大学内外の機関との連携・協力を図っています。

#### ■プロジェクトアドバイザー(教員)

専門的知識または技能を持った教員を学生からの要望によりプロジェクトに配属し、プロジェクト活動に対して専門的な立場から指導・助言を行います。

サポート

2

### 支援金

企画の内容・規模・過去の実績などに応じて、プロジェクト実行に必要な支援金を提供します。

※支援金上限200万円。特別申請により、最大1,000万円。

サポート

3

### 活動スペース

ミーティングルームや工作活動空間など、プロジェクト活動に専念できる場を提供しています。

サポート

4

### 研修プログラム

リーダー研修会や広報講習会など、プロジェクト活動を円滑に進めるための研修や自身のスキルアップを期待できる企画を用意しています。

サポート

5

### 教育プログラム

プロジェクトと連動した「東海大学PA型教育科目」を開設。科目による理論的アプローチとプロジェクト活動による実践的なアプローチの両輪で、さまざまな問題に挑み、成し遂げる力を身につけ、社会で通用する知識とスキルを体得できます。



興味のある方は、各プロジェクトのSNSからぜひご応募・お問い合わせください。

## 01

### スポーツの力で 多くの人を笑顔にしたい

地域でノルディックウォーキング



パラバレーンゲーム



新聞ビリビリ

私たちは「スポーツを通じて地域のQOLを向上させる」ことを目標に、地域でスポーツを通じた交流企画を開催しています。スポーツや人と関わるのが好きな方、プロジェクトを運営したい方、誰でも楽しくさまざまな経験値を増やすことができます。自分の力で地域のお年寄りや子どもたちの笑顔を増やし、スポーツの楽しさを実感してもらえたときはとてもやりがいを感じます。学部学科問わず大歓迎ですので、ぜひ一緒に地域のQOLを向上させるサポートをしましょう。

@dekacharesports @dekacharesports

## 03

### 仲間たちと情熱を傾け 最高のマシンを走らせよう

フォーミュラカー走行前のチェック



フロントウィング取り付け



ピット作業

私たちは、レーシングカーの構想・設計・製作・開発を行う学生フォーミュラプロジェクトです。年に一度行われる全日本大会に出場し、製作した車両で他大学と切磋琢磨しています。文理や男女を問わず、多種多様な学生が大学で学修したことを応用し、思考力・技術力を獲得して活躍しています。この活動は大学生である“今”しかできません。私たちと一緒に「本気のものづくり」をしませんか？まずは一度、活動場所の「7号館ものづくり3」へお越しください。

@tfc\_newstar @tokai\_formula Tokai Formula Club

## 02

### 科学の楽しさを 子どもたちに伝えたい

マシュマロの真空実験



くるくるスタンドグラス作り



空気の実験ショー

サイエンスコミュニケーターは近年進行している理科離れを防ぐために活動しており、公民館や小学校、大学内などさまざまな場所で実験ショーや工作教室を行っているプロジェクトです。子どもたちが楽しみながら体験でき、理科に興味を持ってもらえるような企画を提案、実施しています。本プロジェクトのメンバーには理系の学生だけでなく、文系の学生も参加しています。興味のある方はお気軽にご連絡ください。

@sc\_tokai

## 04

### 目指すはレース世界一と 地球環境のための技術開発

世界大会「BWSC2023」出場



エコカー教室



ソーラーカー展示会

自分たちでソーラーカー・電気自動車を設計・製作し、国内外の大会に参戦しています。目標は2年に一度オーストラリアで開催される世界最高峰のソーラーカーレース「Bridgestone World Solar Challenge (BWSC)」で総合優勝を果たすこと。ほとんどのメンバーは知識がない状態で活動をスタートしました。それでも長年の歴史とノウハウを持つチームだからこそ、成長を続け、世界と互角に渡り合えます。機械・電気・情報・広報などさまざまな分野の学生が活躍中です。あなたのご参加をお待ちしています。

@tokaisolarcar @tokai\_solarcarteam Tokai University Solar Car Team

# 05

## 自分たちの手でつくり 飛ばす感動と一体感

人力飛行機テストフライト

ツンバ  
私たち東海大学人力飛行機チームは「TUMPA」と呼ばれています。私たちは、毎年7月に行われる鳥人間コンテストの優勝を目指しています。全長30メートルを超えるとても大きな機体の設計から製作までを全て学生が行います。パイロットも学生が担当し、作り上げた機体が空を飛ぶ瞬間は言葉ではとても言い表せない感動があります。大学生の今できる活動だからこそ、私たちと一緒に空に飛ばたい共優勝を目指しましょう。

@TUMPAbirdman @tumpa\_birdman



組立試験



ものづくり教室

# 07

## 違いとは、豊かさ。 そのことを体現したい

留学生との交流会でおにぎり

TICCは、①留学生との交流 ②外国にルーツを持つ子どもたちへの学習支援 ③異文化にまつわるワークショップやイベントへの参加を主な活動としています。日本語学校などを訪問し交流することも魅力の一つです。さまざまな活動の中で多くの国の方々と交流することで、多様な価値観や考え方に触れることができ、新たな発見が得られます。また、企画運営や準備を通して多くの異文化への知識を高めることができます。

@ticc\_tokai



外国にルーツを持つ子どもへの学習支援



留学生と福笑いゲーム

# 06

## 夢と技術に乗せて 自分たちのロケットを宇宙へ

ロケット打上げ実験

学生ロケットプロジェクトは、ハイブリッドロケットの開発を日々行っています。メンバーは燃焼班・構造機構班・計測制御班・シミュレーション班に所属し、学生自らが主体的に活動し、他の分野でも役立つ人材を育成しています。2023年3月には北海道大樹町で約5年ぶりに打ち上げを成功させました。今年度はさらなる性能向上と、打ち上げ実績を残すことで他大学の学生ロケット団体を牽引していく立場になることを目指します。

@Tokai\_SRP @tokai\_srp



機体部品締結



風洞実験装置でパラシュート評価試験

# 08

## 子どもたちと国籍を超え 笑顔とハグのあふれる社会に

マルチカルチャーキャンプ

私たちは主な活動として、日本に住む外国籍の子どもたちを対象に、支援活動や異文化交流を行っています。私たちのプロジェクト名である「Beijo Me Liga」は、ポルトガル語で「キスして、電話して」という意味でブラジルの文化を表しています。国籍を超えて交流する場を作り子どもたちと関わることで、普段の授業や大学生活では経験できない多くの素敵な出会いや体験があります。ぜひ一緒に素敵な経験、体験を共有しましょう。

@BML\_Brazil @beijomeliga\_tokai



子どもたちと演奏交流会



ピオダンサ

09

IoT、AI社会に対応する  
人材育成に取り組む

ペットボトルロケット発射

私たちはマイコン搭載型ペットボトルロケットの開発、打上げ体験ができる企画・運営を主軸としたプロジェクトです。イノベーション人材の育成を目標に、プログラミングやロケット工作を通じて、地域の人たちの挑戦力を養うために日々活動をしています。イベント運営に携わることで地域社会への貢献だけでなく、自分を成長させ、充実した大学生活を送ることができます。ぜひ私たちと一緒に活動しませんか？文理を問わず、みなさんのご参加をお待ちしております。

@TDST18 @tdst\_tokai



IWRC Familyイベントで子どもと工作



ペットボトルロケット発射のプログラミング

11

産学官連携を推進し  
SDGs達成を目指す

学内のウォーターサーバー稼働開始

GIPは近年注目を集めている「SDGs」に取り組む団体です。GIP内にはアート、プラスチック削減、地域活性化など、さまざまな角度からSDGs達成に向けたミニプロジェクトが立ち上がっています。自分のやりたいこと、挑戦したいことを新たなミニプロジェクトとして立ち上げ、メンバーと共に協力できる環境がGIPの醍醐味です。挑戦したいことのジャンルは問いません。もちろん、既存のミニプロジェクトに参加することも大歓迎です。私たちと充実した大学生活を送りましょう。

@gip\_tokai @gip\_tokai



ごみ分別イラストの貼付作業



パラスポーツイベントの運営補助

10

古代に生きた人々の  
証を伝え、残す

古代エジプト関連のワークショップ

主な活動として、東海大学所蔵の古代エジプトおよび中近東地域の遺物の整理・修復や、デジタルデータ化、学内外で子ども向けを中心としたワークショップを開催しています。実際に貴重な土器や石器などに触れる機会が多く、実践的な経験もできるので学芸員を目指している方にぴったり。古代エジプトに限らず、考古学や歴史が好きなメンバーが集まっており、理系の学生や留学生も在籍しています。興味のある方ならどなたでも大歓迎です。

@Tokai\_EgyPro @tokai\_egypro



古代エジプトの化粧体験



遺物の撮影作業

12

大学と大学生活をもっと  
クリエイティブに

雑誌「TOKAI」の添削

東海大学NABIプロジェクトは、「大学の魅力を学生の視点から発信していく」をモットーに昨年度からスタートした学生広報プロジェクトです。主にSNS運営や大型イベントサイトの作成、学内アプリケーション開発、雑誌「TOKAI」の取材など、幅広く活動しています。普段の大学生活では経験できない活動に取り組むので、新たな学びと冒険ができる場所となっています。スタートアップメンバーと一緒に大学生活を彩りましょう。

@tokai\_nabi @tokai\_nabi



東海大学生にインタビュー



SNS発信・撮影

## 13

### 地域を盛り上げ 地域とともに成長する

地域のお祭りで出展

Takanawa共育プロジェクト(TKP)では、子ども向けイベントの企画・開催や夏祭りボランティア、港区のイベントサポート、地域の方との交流、ビール作り、さらには神輿を担ぐこともできます。品川キャンパス周辺が主な活動場所になりますが、品川キャンパス所属学生以外にも湘南/伊勢原キャンパス所属の学生も一緒に活動しています。普段の大学生活では経験できない貴重な体験をして、TKPといっしょに高輪地域を盛り上げてみませんか？

Twitter @tkp\_takanawa Instagram @tkp\_takanawa Facebook Takanawa共育プロジェクト



地域の子どもたちと工作



イルミネーション設置作業

## 15

### VRやドローン技術を学び 社会に貢献する

ET ロボ体験企画

私たちは、メンバー自身が情報系や科学系の好きな分野で先端技術の知識を活かしながら、地域や社会に貢献することを目標に活動しています。主に地域イベントでVRやドローン、プログラミングなどを幅広く出展し、子どもたちに情報技術や科学技術を教えています。“興味はあるけれど、すべて活動できるか不安”という方でも、好きな活動にのみ参加も可能ですのでお気軽にお越しください。少しでも興味のある方、一緒に活動しませんか？

Twitter @challenge\_acot Instagram @tokai.acot



VRゲーム体験



ドローン体験

## 14

### 海の中から環境問題を見つめていく

海中清掃活動

私たちは海のゴミ問題に対する認知拡大、海浜および海中の景観の改善を目標に活動しています。普段、触れる機会の少ない海の中の環境問題について考察し取り組んでいます。海中清掃では、実際に海に潜って海中ゴミや、根がかりにより海に残ってしまった釣り具等を回収しています。また、海浜でのゴミ拾いも行っています。大好きな海を守っていくことは、海洋学部である私たちの使命だと思っています。みなさんのご参加を心よりお待ちしております。

Twitter @tokai\_kaichu Instagram @kaichu\_bika\_tokai



回収したゴミの分別



高校生に器材取扱の説明

## 16

### 自ら汗を流し 熊本の農業を応援する

ジャガイモ収穫援助

私たちは、人手不足に悩む農家や地域復興の中核として活躍する農家を訪問し、農作業のお手伝いを行うプロジェクトです。農作業を通じて、技術や知識を身に付けるとともに、プロジェクトメンバーと協力することで、集い力や自ら考える力を習得することができます。農業や自然が好きな方はもちろん、大学生活で新たなことに挑戦したい、自分を成長させたい方も大歓迎です。ぜひ私たちと一緒に、農業を援助する「援農」で活動しましょう。

Twitter @AECPTOKAI Instagram @asoennou



ほうれん草の包装作業



稲刈り援助

17

# 希少な動植物が生息する 阿蘇の自然を守る

阿蘇地域の除草活動



昆虫教室

私たちは、阿蘇地域に生息する希少動植物の保護を目的として活動するプロジェクトです。活動内容は、希少動植物の不法採集を防止する「パトロール活動」、生息環境維持のための「除草活動」、自然を身近に感じてもらう啓発活動の一環として開催する「昆虫教室」など多様です。人の手で維持・管理されてきた阿蘇の雄大な草原やここだけの希少動植物を間近に見ながら活動できることが魅力です。自然や生き物に興味がある方、一緒に活動してみませんか？

@asohahakobune



希少動植物の不法採集防止パトロール

19

# 地域との交流の中で ひとまわり大きな自分になる

除雪活動

私たちは大学近郊の町内会や小学校・児童会館と連携し、さまざまな活動を行っています。夏季は学内でラベンダーまつりの開催、秋季は子どもたちに環境問題について考えてもらう環境教育活動、冬季は住宅の除雪活動を行っています。どの活動においても、地域住民とのコミュニケーションが豊富です。また、除雪活動などのボランティアでは「ありがとう」の言葉をいただくことが多く、やりがいを感じられます。ぜひ一緒に北の大地で新鮮な体験をしてみませんか？

@sapporo\_volunteer\_project2023



ヒゲマの生態学習教室



ラベンダー祭りの運営

18

# 人と動物の共生を考え できることをサポートする

譲渡会の支援



散歩ボランティア

私たちは譲渡会や動物愛護センターでのボランティアを中心に活動しています。譲渡会では運営補助や本プロジェクト主催のスタンプラリー企画など、保護犬猫の家族を見つけるお手伝いをしています。動物愛護センターでは、保護犬の散歩や犬猫とのふれあいを通じて動物愛護についての学びを深めます。他にも、動物愛護週間イベントや保育園園児との交流なども行っています。ぜひ、動物と関わる貴重な機会を体験し、人と動物との在り方について考えてみませんか？

@aniresTOKAI @animalrescue\_tokai



動物愛護啓発活動

## ユニークプロジェクト

メンバー約20名が取り組む大規模なチャレンジプロジェクトに対し、ユニークプロジェクトは“フツウじゃない挑戦”をコンセプトに、自由な発想で考えるユニークなアイデアに対して、大学が支援する制度。東海大学生が“やってみたい”に挑戦できます。募集テーマは「枠にハマらないユニークなチャレンジ」または「社会（公共）問題の発見や解決に寄与する活動」の2つから選択。人数制限はなく、1名から応募可能。1人でも仲間と一緒にでも、自分のやってみたいテーマで活動できる場を提供しています。

### 1名からでもチャレンジ

“やってみたい”に挑戦できる機会を東海大学は提供します。  
※支援金上限は50万円です。

ユニークプロジェクトの詳しい内容は  
こちら



### 2023年度 ユニークプロジェクト紹介(抜粋)

渋谷 「+digital」



高齢者向けスマホ講習会

静岡 海の技術を教えたいプロジェクト



水中ロボット大会

静岡 SeaMyPlas



プラスチックごみ収集

熊本・臨空 阿蘇MIRAI広場



ハロウィンイベント

札幌 SAN+



完成したフリーバー



## 東海大学ソーラーカーチーム

ソーラーカー世界大会で総合5位

オーストラリアで4年ぶりに開催された世界最大級のソーラーカーレース「Bridgestone World Solar Challenge」に参戦。10月22日から26日の5日間、ダーウィンからゴールのアデレードを目指して走行し、総合5位の成績を残した。大会1日目、予選の結果、7番手スタートを予定していたが、電気系トラブルにより11番目でスタートを切った。大会2日目、5番手でスタートし、広範囲にわたるブッシュファイヤー（森林火災）により視界や発電に支障が出たが、無事に5番手でレースを終えた。大会3日目、ブッシュファイヤー等の環境による影響を考慮し、速度を落として走行。他チームに一度先行を許したものの、最終的に5番手となった。大会4日目、リタイヤを検討するほどの不具合が発生したが、めげずに対応し再開。修繕作業の間に2チームに先行を許したが、最終的に6位に浮上した。大会最終日、不具合が生じたため2度停車したが、その後はトラブルなく1チームをかわし、3,021kmを走破して5位でゴールした。優勝は飾れなかったものの、長年にわたる大会発展への貢献と今大会の公正かつ紳士的なレース内容が評価され、「デービッド・フューチャック賞」を初めて受賞した。



## 学生ロケットプロジェクト

北海道大樹町にて5年ぶりに打上げ成功

コロナ禍を経て、5年ぶりようやく実施できたロケット打上げ実験。2023年2月28日から3月2日にかけてリハーサルを行った。本番を迎えた3日は、点火シーケンスを行ったもののトラブルが発生し中止。ラストの本番を迎えた4日は、打上げ直前に航空機が接近し一度中断したが、そのあと無事にハイブリッドロケット(H-57号機)の打上げに成功。この成功は多くの記事に取り上げられ、大注目された。

## Beijo Me Liga

マルチカルチャーキャンプ開催

湘南キャンパスで8月23日から25日まで、Beijo Me Ligaの代表企画「マルチカルチャーキャンプ」を4年ぶりに実施。2泊3日でBig Artやブラジル式の夜会「サウラ」、ピオダンサ、プラネタリウム作りなどを行い、日本で暮らす外国籍の子どもたちと交流を深めた。



## Egyptian Project

古代エジプト関連ワークショップ

本棚劇場が人気といわれている角川武蔵野ミュージアムでワークショップを企画。ワークショップでは古代エジプトに関連する「ヒエログリフのしおりづくり」と「練り香水づくり」を実施。約80名の子どもたちが参加するほど反響があった。



## サイエンスコミュニケーター

科学実験教室でステンドグラス作り

TEPIA先端技術館で同館の依頼により「科学実験教室」を開催。光の実験として、赤外線と可視光、紫外線の違いや、光の三原色などを説明。さらに小学生と一緒に、光の実験を活用して、偏光板にセロテープを貼ったステンドグラスを工作した。



## Takanawa共育プロジェクト

子ども防災フェスの運営サポート

高輪コミュニティふらぎで子ども防災フェスを開催。子どもたちに人気の「うんこ先生」の着ぐるみが登場する防災クイズコーナーで参加者の呼び込みやアシスタントを務めるほか、フェスの多彩なプログラムをサポートし子どもたちを楽しませた。



## 阿蘇援農コミュニティプロジェクト

産山村合宿で援農活動

阿蘇くまもと臨空キャンパスから離れた産山村で2泊3日の合宿。人手不足で悩む農家さんたちを訪れ、トマト収穫や椎茸の原木運び、子牛のお世話など援農活動を行った。農家さんたちが作業する理由を1つ1つ教えていただけるのでかなり学びになった。



## Global Innovation Project

学内にウォータースタンド設置

誰もがSDGsに取り組めるように、湘南キャンパスの1号館、6号館、11号館にウォーターサーバーを設置。多くの方がマイボトルに水を注ぐ様子が見られ、利便性の高さから学生・教職員間で話題を呼んだ。現在、本格的な運用を目指している。



## 海中美化プロジェクト

優秀ポスター発表賞を受賞

「日本海洋人間学会大会」で優秀ポスター発表賞を受賞。これまでの海中清掃で回収物の量をデータ化。さらに、岩などに引っかかってしまった釣り糸にルアーやゴミがさらに絡まるという連鎖的な海洋環境の汚染問題をポスターにまとめて説明した。



## 札幌ボランティアプロジェクト

小学校で環境教室を開催

札幌キャンパスにも出沒したことで話題になったヒグマ。小学校でイベントが開催され、本プロジェクトからは環境教室「ヒグマの生態学習教室」を企画し、ヒグマの生態や行動範囲、遭遇時の対処方法について講演し正しい知識を広めた。

